

**記入例**

**農地法第4条第1項の規定による許可申請書**

大分県知事 殿

共有名義人がいる場合は、①か②のように記入。  
 ①持分〇分の□ 別府 太郎  
 持分〇分の△ 別府 次郎  
 ②別府太郎 外△名別紙記載のとおりと記入し、別紙1を添付

令和 〇 年 〇 月 〇 日

申請者氏名

**別府 太郎**

法人の場合、名称及び代表者氏名を記入。  
 (例)〇〇会社 代表取締役〇〇〇〇

下記のとおり、農地を転用したいので、農地法第4条の第1項の規定により

登記事項証明書（又は住民票）に記載の正式住所のとおりに記入。  
 (通称住所がある場合はお間違えないようご注意ください。)

記

法人の場合、住所欄には主たる事務所の所在地を記入。

**住 所**

1. 申請者の住所

**大分 都道府県 別府 郡市 大字鶴見字●●123番地の4**

2. 許可を受けようとする土地の所在等

土地の所在			地番	地目		面積(m <sup>2</sup> )	耕作者の氏名	市街化区域、市街化調整区域、その他の区域の別
郡市町村	大字	字		登記簿	現況			
別府	別府	〇△	10-1	畑	畑	500	申請者と同じ	市街化調整区域
別府	別府	〇△	10-2	田	荒地	100	—	//
計			600	m <sup>2</sup> (田 100	m <sup>2</sup> ・畑 500	m <sup>2</sup> ・採草放牧地		m <sup>2</sup> )

登記事項証明書の内容を転記。(現況欄は現況を記入。)筆数が多くて書ききれない場合は「別紙記載のとおり」と記入し別紙2を添付する。

3. 転用計画

(1) 転用事由の詳細	用途	事由の詳細											
	<b>駐車場用地</b>	事由の詳細に記入する転用理由については、必ず農業委員会事務局に事前に相談の上、詳しく記入してください。											
(2) 事業の操業期間または施設の利用期間	許可あり次第・	<b>永久</b>	工事の期間を記入										
(3) 転用の時期及び転用の目的に係る事業または施設の概要	工事計画	第1期(着工)	許可後	から	第2期(着工)	年	土	金	から	合 計			
			RO年〇月〇日まで			年	土	金	まで				
		名称	棟数	建築面積(m <sup>2</sup> )	所要面積(m <sup>2</sup> )	名称	棟数	建築面積(m <sup>2</sup> )	所要面積(m <sup>2</sup> )	棟数	建築面積(m <sup>2</sup> )	所要面積(m <sup>2</sup> )	備考
	土地造成			600								600	
	建築物												
	小計			600								600	
	工作物												
小計													
計			600								600		

何に転用したいかを記入。  
 (例) 自己用住宅用地、農家用住宅用地、宅地分譲用地、建売住宅用地、資材置場用地等

4. 資金調達についての計画

**造成費1,000,000円、排水設備200,000円、自己資金500,000円、借入金700,000円**

5. 転用することによって生ずる付近の土地、作物、家畜等の被害防除施設の概要

**転用にあたり、隣接する農地の所有者の同意取得済み(同意書添付)です。また、雨水は地区管理水路に放流する計画で、水利権者の同意(同意書添付)を得ています。その他、周辺農地に被害がないよう十分配慮し、被害が生じた時は責任をもって対処します。**

6. その他参考となるべき事項